

ブドウの

品質・糖度upと鮮度保持に、
カルシウム強化栽培！！



ブドウはポリフェノール（カテキン・アントシアニン・レスベラトロール・プロアントシアニジン・タンニン）が豊富で、老化防止、美肌効果、アレルギー症状の緩和に優れた果物！

またブドウ糖は体内に吸収されるとすぐにエネルギーに変換されるので疲労回復に効果的です！！

【硫酸カルシウム肥料】



カルゲン®

【粉状・粒状】 15 kg入り

ブドウ栽培の特長

- ◆ 温度に対する反応が比較的敏感で品種や地域によっても異なる
- ◆ 一般に冷涼な地域の果実ほど着色は良好だが酸味が強い傾向にある
- ◆ 栽培に適した土壌は通気性の良い砂壤土を好み、また石灰や苦土を多く含みpHが微酸性から微アルカリ性の土壌も好む
- ◆ 養分吸収量はカルシウムが最も高く、次いでカリとチツソの順となっている
- ◆ 特に生育最盛期には吸収量が急増するので欠乏しないように肥培管理をおこなう
- ◆ 品質・食味の向上・脱粒の軽減・鮮度保持にカルシウム（カルゲン）は必要不可欠な

養分吸収量（収穫1トン当たり）kg

チツソ N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
6.0	3.0	7.0	9.0	1.5

カルゲンとは・・・

- ◆ カルシウムとイオウが結びついた石膏（農業用石膏）を主原料に製造したカルシウム特殊肥料
- ◆ 酸性のカルシウム肥料ですから土壌のpHが上昇することなく、連用することで土壌を団粒化して、有効微生物の繁殖を促す
- ◆ 石灰類（炭カル）に比べ約170倍水に溶けやすく、作物に吸収されやすい水溶性のカルシウム肥料
- ◆ 作物が健全に生育するために必要なカルシウムの養分補給に最適！
- ◆ 特に、窒素過剰による生育障害を軽減（拮抗作用）

カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備考
元肥	全面土壌混和	2～3袋/10a	定植前（他の肥料と同時施用）
追肥 1	畝間に施用	3袋/10a	収穫前50日頃 生育状況をみながら
追肥 2	葉面散布 （ネオカル水和剤又は カルゲンβ液剤）	100～150ℓ/10a	1,000倍液を2～3回散布 農薬と混用可能 （銅剤・アルカリ剤を除く）

☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。

☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。

☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社